

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01406古平町
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01406古平町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えており、家庭学習時間の増加が学校・家庭の共通の課題となっている。	これまでも、学校において、放課後学習等の授業以外の学習時間増加に向けた取り組みを行っているが、家庭での学習時間が全道全国平均を大きく下回る結果(アンケート調査より)となっている。	「放課後ふるびら塾」を毎週木曜日の放課後(年間30回程度)に定期的に開催し、3名の学習支援員を配置することで、きめ細かな学習指導の充実を図る。また、児童及び保護者に対し地域学校協働活動(放課後ふるびら塾)への参加を呼び掛け、登録者数の増加に努める。(前年度登録者数30名)	学校以外で日常的に学習を行う児童生徒が増える。	アンケート調査により、学校以外で勉強する児童生徒の割合の増加を測る	41	%	60		40	※仮申請時の現状の数値・本年度の目標値(8%・15%)については、令和5年度実績報告前に作成し、過去データにより算出したものであったため、令和5年度実績の結果を基に実態に則した数値(41%・60%)に変更した。 「放課後ふるびら塾」を毎週木曜日の放課後に定期的に開催し、3名の学習支援員を配置することで、きめ細かな学習指導の充実を図り、児童の学習習慣の定着に一定の効果が見えられた。 一方で、アンケート結果からは、学習時間の増加を実感した児童の数値が目標値に届かず、前年度と横ばいの数字であった。次年度からは、学校の宿題以外に算数ドリル等を活用することで学習の充実を図る。	https://www.town.furubira.lg.jp/r/saring/detail.php?id=40